



担当講師略記号
 (新) : 新井 道代 (岩) : 岩下 真麻 (沖) : 沖澤 直子 (押) : 押部 朋子 (黒) : 黒田 陽香
 (坂) : 坂場 圭介 (真) : 佐藤 真澄 (法) : 法橋 泰子 (松) : 松澤 結子 (森) : 森川 郁子
 (山) : 山縣 万里 (岳) : 山田 岳

- ♪当日の入館は9:00より可能です。
- ♪楽屋は小ホール脇のA、Bが開演中使用できます。
- ♪練習は第2練習室（グランドピアノ付）9:00～15:15、第3練習室9:00～17:00ご使用出来ます。
- ♪練習室、楽屋は譲り合ってご使用下さい。

ティアラこうとうの地図



第48回 アイゼナハ音楽院 発表会

2024年3月16日（土）11:30 開演（11:00開場・入場無料）

会場：ティアラこうとう（小ホール）Tel. 03-3635-5500

主催：アイゼナハ音楽院 Tel. 03-5281-0925

ごあいさつ

本日は第48回アイゼナハ音楽院発表会にご来場頂き誠にありがとうございます。

今年は元日から能登地震が発生し正月気分がいっぺんに吹き飛びました。

その直後からテレビなどのメディアは地震一辺倒の報道となり、その延長で13年前に起きた東日本大震災にも触れる機会も増えました。

そして今日の発表会は3. 11に近いこともありこの時期どうしても大震災当時の記憶が頭の片隅から消えない状態となっています。

そんな大震災が起きて日本中がまだそのショックから冷めやらない頃、非常に印象的な出来事があったのでここに紹介させて頂きます。

ギターの商売をしている私としてはあのような大災害が起こればもうしばらくは東北地方へはギターは売れないだろうなと思っていたところ、東京近郊に住む二人連れのお客さんがアポイントなしにご来店されました。

何でも、自宅が津波で流され避難所生活を強いられている友人の所に、ギターを購入するので送ってもらえないだろうか、とのこと。

もちろん、断る理由などなくギター発送・受け取りの段取りなどを詰めている中で、避難所では生活必需品を送らずともなんとか暮らせることは出来ること。ではその友人のため何をしてあげるのがベストか、と考えた時に、その友人が大好きなギターを送ろう、という話になららしいのです。

生きていくだけでも大変な避難所生活で、まともに練習することすら出来ないであろう友人のためにギターを。

その友人にとってギターは、過酷な日々を送る中でも、ふと心に安らぎのひとときを与えてくれ、何物にも代え難い存在であったんだと思います。

楽器との関わりは人それぞれだとは思いますが、人によっては心の支えとなることを痛感した次第です。

本日ご参加される生徒さんにあっては思いっきり楽器を演奏しようにも、近隣の住人やご家族への配慮から思い通りの練習が出来ない方も多いのではないかと思います。

そんな中、皆さんが楽器の種類を問わず演奏に打ち込んでいる姿というのは、それ自体ありがたい日常あつてのことなのだと思うのです。

【次回第49回の発表会は2024年9月21日（土）ティアラこうとう（都営新宿線：住吉駅）です】